

令和6年度

MC L盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校
自己点検・評価委員会結果報告書

令和7年3月

令和6年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館 MCL 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校の自己点検・評価結果を公表致します。

令和7年3月

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 尚孝

1. 学校の教育目標

本校の教育理念である「社会の発展に貢献すべく、現代社会や産業界が求める人材の育成を行うことを目的とする。そのため、資格取得のみならず、社会的常識と教養を備え、明るく健康的で建設的な考え方をもち、社会人として求められる『主体性』『課題解決力』『実践力』を備えた『気づき、挑戦し続ける人材』の育成に努める」に基づき、学生から社会人への移行がスムーズに行われるよう、様々な学習環境を提供する。

2. R6年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・キャリア教育の浸透および人間性の向上・主体性の育成を目指す。
- ・複数学科が協同して取り組む企業連携活動や各種プロジェクトを実施し、より実践的な環境構築を目指す。
- ・参加者が入学後の成長イメージを具体的に描けるような発信力の高いオープンキャンパスの実施に務める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

| | 評価項目 | 自己点検・評価結果※ |
|------|---|------------|
| 1 | 学校の理念・目的・人材育成像は定められているか | 4 |
| 2 | 学校における職業教育の特色は明確か | 4 |
| 3 | 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 4 |
| 4 | 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | 3 |
| 5 | 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 3 |
| 評価理由 | 学校の理念・目標・人材育成像等については、明文化して学校HPや学生の手引きへの掲載ならびに校内掲示等を行い、いつでも確認できるように工夫している。 各科においては業界のニーズのみならず、時代の急速な変化に対応ができてきているのか、外部を交えて確認する機会を設けていきたい。 | |

(2) 学校運営

| | 評価項目 | 自己点検・評価結果※ |
|------|---|------------|
| 1 | 目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 |
| 2 | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 |
| 3 | 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 |
| 4 | 人事、給与に関する規定等は整備されているか | 3 |
| 5 | 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 3 |
| 6 | 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 |
| 7 | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 3 |
| 8 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3 |
| 評価理由 | 教育目標や成績評価の方法と基準、学校運営・経営情報等の情報についてはHPにて公開しているが、単位制移行に向けて再検討していく必要がある。 予め決められた方針等の公開はできているが、日々の教育活動の発信には課題がある。広報部との連携が必要であり、体系化を更に深めていきたい。 | |

(3) 教育活動

| | 評価項目 | 自己点検・ 評価結果※ |
|------|---|----------------|
| 1 | 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 |
| 2 | 教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 |
| 3 | 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 3 |
| 4 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| 5 | 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 3 |
| 6 | 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 4 |
| 7 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 3 |
| 8 | 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 |
| 9 | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 |
| 10 | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 |
| 11 | 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 3 |
| 12 | 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 3 |
| 13 | 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 3 |
| 14 | 職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 |
| 評価理由 | <p>本校の教育理念に共感してご協力いただける企業等の拡がりからより実践的な学修の機会が増えており、学科だけでなく学校をまたいだ学習の場も増加している。</p> <p>人材の確保や育成においてはコントロールしがたい状況が続き、後手に回るケースがある。</p> <p>次年度は研修方針等を先んじて決定していくことを課題としたい。</p> | |

(4) 学修成果

| | 評価項目 | 自己点検・ 評価結果※ |
|------|---|----------------|
| 1 | 就職率の向上が図られているか | 3 |
| 2 | 資格取得率の向上が図られているか | 3 |
| 3 | 退学率の低減が図られているか | 3 |
| 4 | 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3 |
| 5 | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3 |
| 評価理由 | <p>学生対応は1件1件が複雑な事情を抱えており、丁寧な個別指導や保護者との連携強化により、退学率を最小限に抑える工夫をしている。教職員がそれぞれに案件を抱えることの無いよう情報を共有し、教職員全員で対応に努めている。</p> | |

(5) 学生支援

| | 評価項目 | 自己点検・ 評価結果※ |
|------|---|----------------|
| 1 | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| 2 | 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| 3 | 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 |
| 4 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 |
| 5 | 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3 |
| 6 | 学生の生活環境への支援は行われているか | 4 |
| 7 | 保護者と適切に連携しているか | 4 |
| 8 | 卒業生への支援体制はあるか | 3 |
| 9 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 3 |
| 10 | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 |
| 評価理由 | 進路体制として、進路においては就職連携課、健康面等についてはMCL相談室、経済的な相談は事務局と明確にされており、学生の手引きにも記載されている。 | |

(6) 教育環境

| | 評価項目 | 自己点検・ 評価結果※ |
|------|--|----------------|
| 1 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3 |
| 2 | 学内外の実習施設、インターンシップ、異文化理解等について十分な教育体制を整備しているか | 3 |
| 3 | 防災に対する体制は整備されているか | 3 |
| 評価理由 | 施設・設備は必要に応じて検討がなされているが、先を見越した投資も行いたい。実習やインターンシップのみならず、時代の流れにあわせた異文化交流の機会も設けたい。 | |

(7) 学生の受入れ募集

| | 評価項目 | 自己点検・ 評価結果※ |
|------|--|----------------|
| 1 | 学生募集活動は、適正に行われているか | 3 |
| 2 | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 3 |
| 3 | 学納金は妥当なものとなっているか | 4 |
| 評価理由 | オープンキャンパスに際しては、教育理念や人材育成等について、理解と共感いただいた上で入学いただけるよう努めている。広報部と連携し、日々の教育活動や学生の様子を伝えていく機会を増やしていきたい。 | |

(8) 財務

| | 評価項目 | 自己点検・ 評価結果※ |
|------|--|----------------|
| 1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 |
| 2 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 |
| 3 | 財務について会計監査が適正に行われているか | 4 |
| 4 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |
| 評価理由 | 法人本部で財務について適正に管理しており、財務情報についてはホームページで公開している。 | |

(9) 法令等の遵守

| | 評価項目 | 自己点検・評価結果※ |
|------|--|------------|
| 1 | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| 2 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 |
| 3 | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 |
| 4 | 自己評価結果を公開しているか | 4 |
| 評価理由 | 法令や専門学校設置基準等に基づいて適正に運営しており、自己評価結果についてはホームページで公開している。 | |

(10) 社会貢献・地域貢献

| | 評価項目 | 自己点検・評価結果※ |
|------|--|------------|
| 1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 |
| 3 | 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 |
| 評価理由 | 教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献については、企業と連携した市民講座（オープンユニバーシティ）や地元企業のWeb制作やシステム開発、地産商品のラベル・ポスターデザイン、大規模なイベントなど、様々な取り組みを行っている。令和5年度からはMCL専門学校グループとしてゴミ清掃を行い、評価をいただいている。 | |

(11) 国際交流

| | 評価項目 | 自己点検・評価結果※ |
|------|-------------------------------------|------------|
| 1 | 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか | 4 |
| 2 | 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | 4 |
| 3 | 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか | 4 |
| 4 | 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか | 3 |
| 評価理由 | 法人の担当部門と連携を図りながら適切に取り組んでいる。 | |

4. R6年度の総合的な自己点検評価結果と今後の目標

新型コロナウイルス終結に伴い、大きな時代の変化を感じている。オンラインが急速に浸透し、その恩恵として全国の有識者をオンライン講師をして招くことも容易となり、授業の質や幅を高めることができた。その一方でハイブリッドな対応も求められることも増え、教育の内容も生成AIなどの未知なる領域へと踏み込んでいかなければならない。次年度は業界のニーズを確かめながら着実に変化をしていきたい。

その一方で単位制移行に向けて、システム系学科が稼働を始めている。令和8年度全学科移行に向けて様々な課題が予想されている。学校としての矜持を持ち、更なる教職員の結束を図りたい。

令和6年度

MCL 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校
学校関係者評価委員会結果報告書

令和7年7月20日

学校法人龍澤学館

理事長 龍澤 尚孝

令和7年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 MCL 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を7月18日に実施いたしました。以下に、その内容についてご報告いたします。

今後は、各評価委員からの意見は指導等を真摯に受け止め、より良い教育より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

引き続き、一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 学校関係者評価委員名簿

| 氏名 | 所属 | 役職等 |
|---------|-------------|-----------|
| 蔵本 俊秀 様 | 株式会社ソフトアルファ | システム本部 |
| 早川 智子 様 | 株式会社北日本銀行 | 人事部執行役員部長 |
| 渡辺 炎如 様 | 有限会社 哲学堂 | (欠席) |
| 菊池 那紀 様 | 卒業生 | (欠席) |
| 外川 綾香 様 | 卒業生 | (欠席) |

《事務局》

| | | |
|-------|-----------------------|------|
| 及川 源太 | MCL 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 | 校長 |
| 伊藤 政幸 | 同校 | 校長代理 |

2. 開催日時

令和7年7月18日(金) 15:15~16:15

3. 次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 令和6年度自己点検・評価結果報告ならびに議論
- (3) その他
- (4) 閉会

3. 議論内容

MCL 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校の教育理念・目標と R6 年度に定めた重点目標と計画、活動内容等について事務局より報告後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成された評価項目による自己点検・評価の結果に基づき、各項目の達成状況や取り組み状況、改善策等について議論を行った。

(1) 教育理念・目標

教育理念・目標に沿って適切に運営がすすめられたことが報告された。引き続き、学生が意欲的に学習に臨める環境の整備、強化を進めていくことを確認した。

(2) 学校運営

情報公開等については修学支援新制度の対象校として認定を受けている学校として、適切に実施していることが報告された。また、職員の評価制度に関して、本部のほうで整備を進められていることも報告され、引き続き適正に運営していくことを確認した。

(3) 教育活動

教員の確保については昨今の人材不足や教育の多様性にも関わってくる部分であるが、地方で教育の現場に携わっていただける人材を探すのに苦戦しており、今後も課題として継続する認識であることが報告された。

(4) 学修成果

就職率について、現段階でも売り手市場が続いている。ただし希望できる職種や職業には一定のスキルが必要であり、本校の学生たちは高く評価されていると感じる。卒業生との関係性については、展示会やグループチャットなどで卒業後も関係性を築くことが出来つつあると感じている。学校とからの発信の頻度が今後の課題であることを確認した。

(5) 学生支援

新設された MCL 就職連携部とともにサポートを行っていることが報告された。

(6) 教育環境

学校設備だけにこだわらず、内外で学生たちが学べる環境を作っていこうとする方針について報告された。

(7) 学生の受け入れ募集

オープンキャンパスやガイダンスでは、サポート学生（在校生）の姿も見えていただきながら学校の姿勢に共感した入学者の獲得を目指していることが報告された。

(8) 財務

適正に運営できていることから、特に意見は出なかった。

(9) 法令等の遵守

適正に運営できていることから、特に意見は出なかった。

(10) 社会貢献・地域貢献

社会・地域への貢献となるアプリケーション開発や講座の実施、ポスター等のデザインを積極的に手掛けることで還元できていることが報告された。引き続き、地域社会の発展に向けて学校が持つ教育資源を有効に活用していくことを確認した。

(11) 国際交流

適正に運営されていることから、特に意見は出なかった。

4. まとめ

今回も、教職員が一丸となって地域社会や企業等との連携を図りながら健全な学校運営を行い、社会のニーズに対応した人材の輩出や様々な実践経験を積める学習環境の提供に努めて取り組んでいることを確認できた。昨今の社会情勢の変化は、働き方はもとより生活様式そのものも変えていくことが分かっており、MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校の教育にかかる期待はますます大きくなると考えられる。社会の変化に対応した教育のより一層の充実と、家庭・保護者との連携強化を確認して閉会とした。(今回ご欠席の委員へは、後日内容の共有と共に意見の聞き取りを個別に実施)